

## 200カイリ水域内漁業資源総合調査委託事業によるソデイカ標識放流調査の実施

鹿児島県水産技術開発センター 資源管理部

## 1 事業の目的

200カイリ水域内の漁業資源（約200種）を評価し、漁獲可能量(TAC)の設定や資源の維持管理及び高度利用の推進に資するための基礎資料を整備する。

(調査内容)

## (1) 漁獲・資源動向調査

漁獲動向・CPUE（1隻あたり漁獲量）等を把握する。

## (2) 操業実態調査

標本船調査による操業位置や漁獲量等を把握する。

(3) 標識放流調査

小型個体の標識放流を実施し、小型個体再放流の有効性を検証する。

## 2 標識放流調査の概要

## (1) 調査実施者

鹿児島県水産技術開発センター 資源管理部 担当：中武)

## (2) 調査の目的

ソデイカの成長や移動・回遊に関する基礎的知見を得るとともに、小型個体の再放流の資源管理上の有効性（放流後成長して再び漁獲されるか）を検証する。

## (3) 調査期間・調査海域

小型個体の出現が期待される解禁前の10月に与論島周辺海域にて実施。

## (4) 調査の方法

与論町漁協所属漁船を用船し、日帰り操業で調査を実施する。旗流し漁具で生きた小型個体（未成熟個体，外套背長50cm以下）を確保し、採捕場所と外套背長を記録し、鰭に標識を装着して再放流する（下画像参照）。

また関係機関・漁協等に標識放流調査の実施を周知し、再捕報告を依頼する。

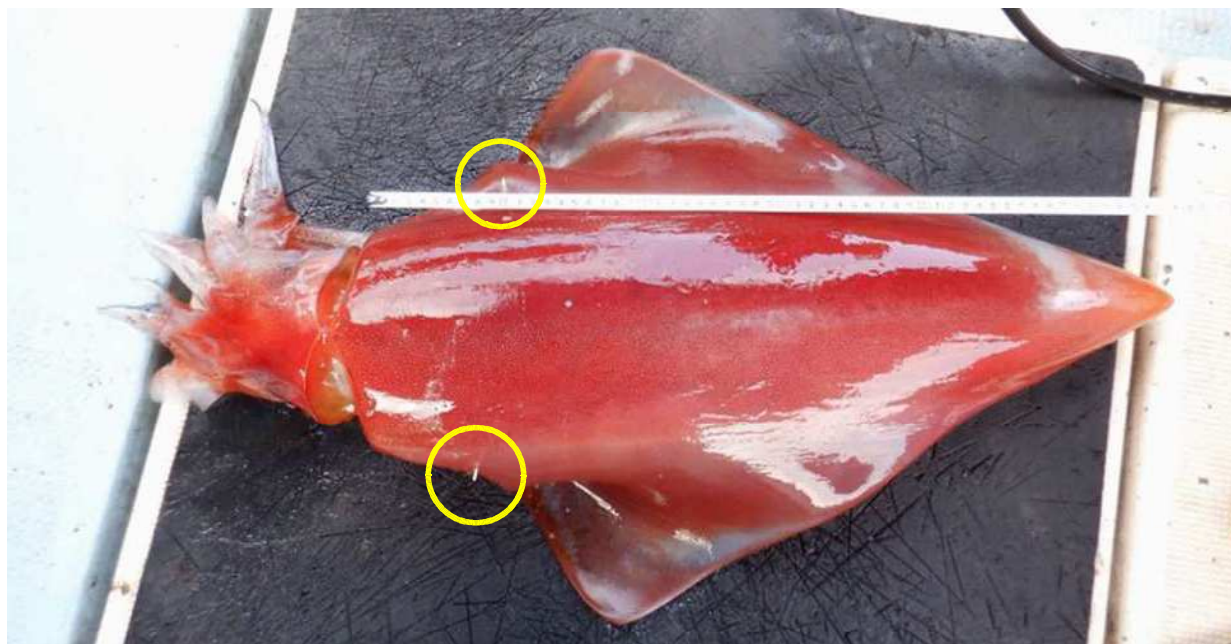


図1 標識を装着したソデイカ

### 3 令和4年度実施計画

#### (1) 調査実施日

令和4年10月24～31日（内2日）\*天候等の影響により日程変更の可能性あり

#### (2) 実施場所

与論島周辺海域

#### (3) 使用漁船

与論町漁協所属漁船（琢重丸）

#### (4) 漁法

旗流し釣り（15鉢前後予定）

#### (5) 調査員

水産技術開発センター資源管理部 研究員 中武 凌一

### 4 過去の標識放流実績

#### (令和元年)

##### (1) 標識放流

###### ・第1次

実施期間：令和元年10月8日

放流位置：26° 55.738' N 128° 50.735' E

放流数：1ハイ（53cm\*）\*外套背長（筒の長さ）

###### ・第2次

実施期間：令和2年1月21日

放流位置：27° 04.343～07.212' N 128° 42.416～47.050' E

放流数：3ハイ（43cm, 53cm, 59cm\*）\*外套背長（筒の長さ）

###### ・自主放流

実施期間：令和元年11月4日～令和2年1月5日

放流位置：26° 40.000～27° 42.000' N 128° 44.000' ～131° 37.860' E

放流数：50ハイ（30～60cm\*）\*外套背長（筒の長さ）

##### (2) 標識再捕

採捕報告は得られなかった。

#### (令和2, 3年)

コロナウイルス感染症の感染拡大や軽石による影響のため調査を実施しなかった。